

天氣と神

新約聖書入門

2017/9/3 合同礼拝

異常気象の原因

- 最近は“異常気象”だとよく言われる
 - 大雨・干ばつ、異常高温・異常低温、台風など
- “異常”なのではなく“想定外”的天気
 - 「今までに経験したことのない大雨」「数十年に一度の大雨」が頻発する
- 地球温暖化や自然破壊が原因か?
 - 二酸化炭素の過剰放出による温室化
 - 自然のバランスを壊してしまったことは確か

“雨”というすばらしいシステム

- 地球上の生物には“真水”が絶対に必要である
- しかし、地球上の水の98%が海水(塩水)！
 - 真水のほとんどは氷・地下水 使える水は0,01%
- この塩水を自動的に真水に変え、地表に供給しているのが“雨”というシステムである
 - 海水が蒸発する際に、塩分などが取り除かれ、真水だけが上空に貯まる
 - 上空は温度が低いので、水分は凍り、氷となる
 - 氷は雲となって移動し、障害物(地表)にぶつかると雪や雨となって降り注ぐ

①から④のくりかえし



① 太陽の熱が
海や川を
あたためる



聖書に出てくる天気の話

- ノアの洪水(創世記6~9章)
 - 罪に汚染されてしまった人類を、ノアの家族を残して滅ぼすために大洪水が起こった
- エジプトの7年の干ばつ(創世記41章)
 - ヨセフをエジプトの宰相とするために起こった
- 出エジプトの際の雹の災い(出エジプト記9章)
- 王を求めた民への警告として(サムエル記12章)
- エリヤによる干ばつと降雨(列王上17~18章)
 - エリヤが祈ると3年間雨が降らなかった

良い天気は祝福の印(旧約聖書)

もしわたしが今日あなたたちに命じる戒めに、あなたたちがひたすら聞き従い、あなたたちの神、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くして仕えるならば、わたしは、その季節季節に、あなたの土地に、秋の雨と春の雨を降らせる。あなたには穀物、新しいぶどう酒、オリーブ油の収穫がある。…あなたたちは、心変わりして主を離れ、他の神々に仕えそれにひれ伏さぬよう、注意しなさい。さもないと、主の怒りがあなたたちに向かって燃え上がり、天を閉ざされるであろう。雨は降らず、大地は実りをもたらさず、あなたたちは主が与えられる良い土地から直ちに滅び去る。(申命記11:13~17)

天気から何を知るか

- 天気は公平に与えられる(新契約)
 - 「あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。」
マタイ 5:45
- 人間の愚かさと、力の限界
 - 「力を捨てよ、知れ／わたしは神。国々にあがめられ、この地であがめられる。」詩編40:6
- 神の創造の不思議と完全さ
 - 「主は天を雲で覆い、大地のために雨を備え／山々に草を芽生えさせられる。」詩編147:8

おまけ

- 祈ったら天気は変わるのか?
 - 雨を願っている人がいたとしたら?
- 困った時や変えて欲しい時だけ祈るな!
 - 備えられた天気に感謝しよう
 - 広島県の年間降水量: $1,640\text{ミリ} \times 8,477\text{km}^2$ (面積)
= 約140億 m^3 = 約5千 m^3 ／人 = **約50万円**
- 人生の“**洪水**”に耐える備えを
 - 「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかつた。岩を土台としていたからである。」 マタイ7:24-25